

第2回「北極に関する日中韓ハイレベル対話」(概要) (2017年6月8日, 於: 東京)

2017年6月
外務省
海上安全保障政策室

1. 概要

- (1) 6月8日, 第2回「北極に関する日中韓ハイレベル対話」が東京(於: 外務省)で開催され, 日本から白石和子北極担当大使, 中国から高風(こう・ふう)外交部北極担当特別代表, 韓国から金英俊(キム・ヨンジュン)外交部北極担当大使をはじめとする関係省庁及び研究機関の代表が出席。
- (2) 本会合において, 各国の北極政策や北極に関する諸課題及び今後のこの分野における3か国協力の可能性等に関するプレゼンテーションが行われた。白石大使からは, 一昨年10月に総合海洋政策本部会合で決定された「我が国の北極政策」に基づき, 我が国の北極に係る取組が着実に進展している旨強調。
- (3) 中国からの提案により, 第3回会合は2018年に中国が主催することとなった。
- (4) 「北極のフロンティアについて考える議員連盟」から鈴木俊一衆議院議員(会長), 伊藤忠彦環境副大臣(事務局長)がレセプションに来賓として出席し, 挨拶を行った。
- (5) 本会合終了後, 共同声明を発出(別添)。

2. 共同声明のポイント

- (1) ルールを基礎とした海洋秩序に基づき平和, 安定及び建設的な協力を維持することの重要性に言及(パラ1)。
- (2) 北極に関する様々な国際的枠組への3か国の貢献を一層強化する重要性に言及(パラ5)。
- (3) 北極に関する科学研究の分野で, 環境変化の共同研究及び共同観測について3か国の協力案件2件に言及しつつ, 科学研究以外の分野における共同案件も引き続き特定していくことに言及(パラ6)。

【参考1】北極に関する日中韓ハイレベル対話

2015年11月に開催された日中韓サミットの機会に発出された「北東アジアにおける平和と協力のための共同宣言」において, 韓国側の提案により立ち上げられたもの。北極問題の地球規模での重要性に鑑み, 日中韓協力の可能性を追求すること等を目的とする。3か国の北極担当大使級がヘッドを務め, 関連研究機関の関係者も参加するトラック1. 5の会合。第1回会合は昨年4月28日にソウルで開催。

【参考2】「北東アジアにおける平和と協力のための共同宣言」(2015年11月1日)抜粋

北極問題の地球規模での重要性を認識しつつ, 我々は, 「北極に関する日中韓ハイレベル対話」を立ち上げ, 北極政策を共有し, 協力案件を追求し, 北極に関する協力を深化させる方法を模索する。

